

第46回

全国 障害者技能競技大会 (アビリンピック)

障害者技能競技大会 とは

本大会は、アビリンピックの愛称で親しまれ、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方に対する理解と認識を深め、その雇用の促進等を図ることを目的として開催しています。

参加資格

- ・原則、障害者手帳をお持ちの方
- ・2026年4月1日現在において15歳以上の方
- ・各都道府県知事からの推薦要件を満たしている方

詳しくは下記お問い合わせ
先までご連絡ください

義肢競技 とは

義肢とは疾病や事故などにより失った手や足の外観や機能を補完する人工の手・足をいいます。競技課題は、義肢を使うときに切断部分に装着する「ソケット」の製作です。(参考：第45回全国大会)

2026年12月
4日～6日

愛知県国際展示場

【交通費・宿泊費は主催者が
一部負担します】

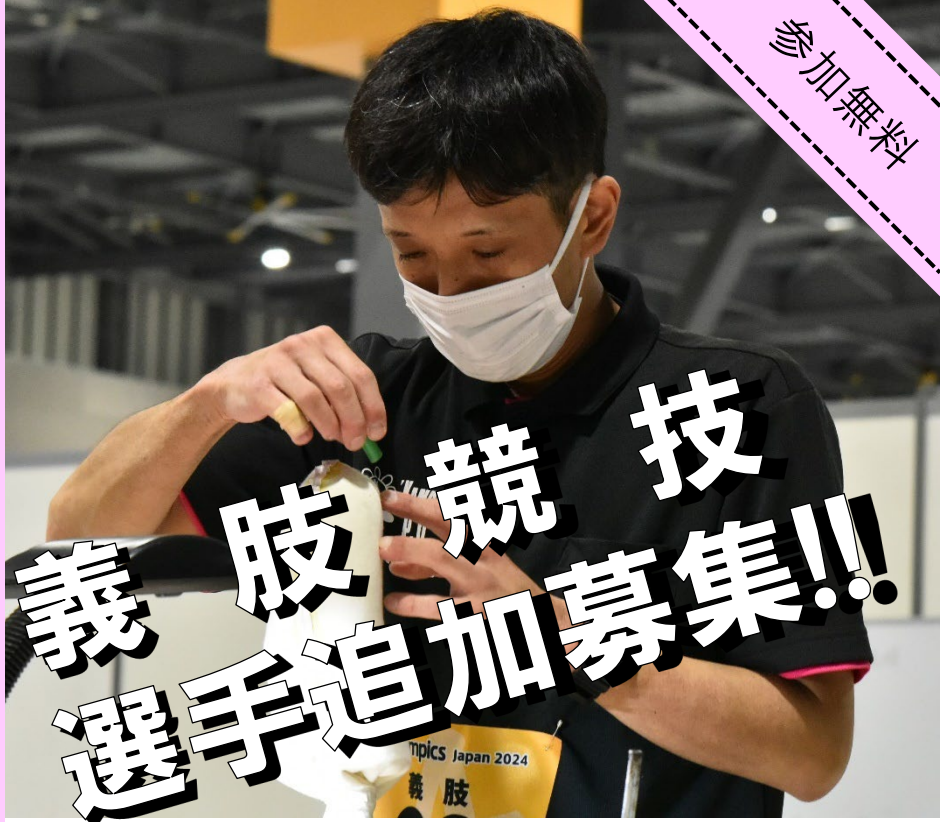
お問い合わせ先

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)
各都道府県支部 高齢・障害者業務課
- 各都道府県人材開発主管課

<https://www.jeed.go.jp/disability/activity/abilympics/index.html>

全国大会の詳細については、
公式サイトからご確認ください

参加無料



地方大会

地方アビリンピック（全国47都道府県で開催）の成績優秀者などが、都道府県知事の推薦により全国アビリンピックに参加します。

全国大会

全国アビリンピックは、昭和47年の大会創設以来、今年で46回目の開催を迎えます。原則として、毎年技能五輪全国大会とともに、全国の地方都市等で開催しています。

今回の第46回大会で予定している技能競技は全25種目です。

国際大会

国際アビリンピックは1981（昭和56）年の「国際障害者年」を記念して、国際リハビリテーション協会(RI)の国際会議における日本からの提案により第1回大会が東京で開催されました。以来、概ね4年に1度開催されています。

日本からは、全国アビリンピックの成績優秀者等から技能競技選手等をJEEDが派遣しています。

※全国大会で実施する全種目が派遣対象となるわけではありません。

